

広報

# ただみ

12  
2019 月号  
No. 595  
令和元年12月10日



## 今月の表紙

今年も3地区の保育所でおゆうぎ会が行われ、園児たちは元気いっぱい劇やゆうぎなどを発表しました。劇「じゅげむ」を披露した朝日保育所さくら組のみんなは、来年4月から小学生になる、保育所で1番のお兄さん・お姉さんです。劇では、「じゅげむじゅげむ」のとても長い言葉をみんなで覚え、緊張しながらも完璧に披露することができました。

(関連記事：P15)

### 《特集》

- シルバー人材センター…………… 2～5
- 第49回只見町文化祭…………… 6
- 町制施行60周年記念事業
  - 文化講演会&エコパーク講演会…… 7
  - 上半期財政状況…………… 8
- 《News&flash》…………… 9～11
- 《町の話》…………… 12～15





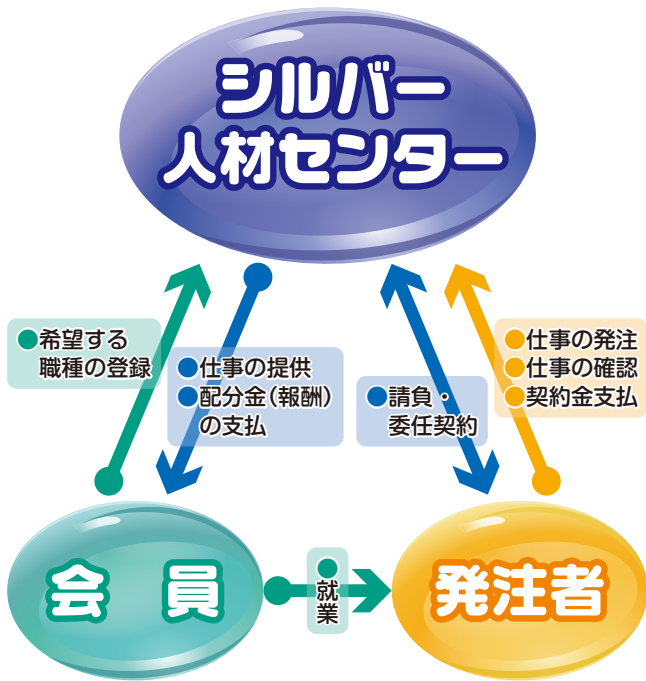
豊富な経験や能力を活かし、新たな生きがいを

# 只見町シルバー人材センター

全国的に高齢化が顕著な近年、各市町村で「シルバー人材センター」の重要性が急速に高まっています。世間で“生涯現役”が謳われている中、定年退職後も積極的に働きたいのに「都市部以外では働き口が少ない」と感じている方も多いのではないのでしょうか。

町では、今年度「シルバー人材センター制度」を導入しました。本号では、ライフスタイルを変えることなく、地域のために豊富な知識や経験、技能を活かすことができる「シルバー人材センター会員として働く」という選択肢について皆さんに紹介します。





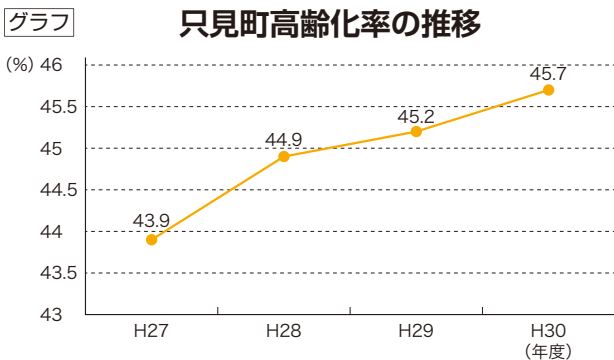
**Q シルバー人材センターとは？**

**A** 発注者から仕事の依頼を受け、登録会員に臨時・短期の仕事を提供（労働者を派遣）します。仕事を終えた会員への配分金の支払も行います。

※会員（高齢者）は概ね60歳以上



▲今年5月に行われた設立総会（朝日振興センター）



※広報たぐみ掲載の高齢化率（年度毎の平均値）を使用

**高齢者の皆さんがより働きやすい環境を**

全国的な傾向と同様、只見町の高齢化率（総人口において65歳以上が占める割合）は上昇の一途をたどっています。左記グラフのとおり毎年、高齢化率は上昇しており、今年9月の新聞報道では、県内市町村で5番目に高い高齢化率であることが発表されました。健康で働く意欲のある高齢者の皆さんが増加する中、これからは行政機関などが中心

となり、「高齢者の働く機会」を作り出していくことが必要とされています。

シルバー人材センターは、働きたい高齢者（会員）と仕事の依頼を希望する発注者の仲介を行う機関です。厚生労働省から指導を受けるシルバー人材センター連合本部（各都道府県）が統括組織であり、各市町村に設置されたシルバー人材センターが実際の活動拠点となっています。県内でも既に多くの市町村が同センター制度を導入しており、たくさんの方々が会員として地域のために働いています。

只見町でも今年度、同センター制度を導入し、5月に設立総会を開催、7月下旬から仕事の受託を開始しました。事務局は町保健福祉課内に設置されていますが、「地域の高齢者が集まって組織し、自主的に運営する」という理念のもと、会員である皆さんを主役として、今後の活動を本格化させていきます。

**【県内センター会員の活動の様子】** ※福島県シルバー人材センター連合会様より提供



## 表1 作業内容一覧

### ●時間単価による仕事（1時間当たり単価）

職種	主な仕事内容	お客様単価(税込)
軽作業	清掃、草むしり、その他軽易な作業	880円
	墓地清掃(除草、草刈り)	1,100円から
屋内外作業	雪囲い	1,100円から
	簡易な補修作業(材料費は実費となります)	1,500円から
農作業	一般的な畑作業補助	880円から
	田植え補助、稲刈り補助	1,000円から
	機械草刈り(肩掛け式)※機械・燃料代含む	1,500円から

### ●出来高による仕事（1枚単価）

職種	主な仕事内容	お客様単価(税込)
住宅関係	障子張替(材料費は実費となります)	1,200円から
	ふすま張替( // )	3,300円から
	網戸張替( // )	1,500円から

★遠距離(往復40km以上)の場合は、交通費として1日1,000円が会員に支給されます。

※標準的な職種のみを記載しています。

上記以外の業務については事務局までご連絡ください。

豊富な会員数が前提ではありませんが、依頼件数の増加が「高齢者の皆さんが働く機会」の増加に直結していきます。

また、センターを働き口として活用するだけでなく、仕事の依頼についても積極的にご利用ください。「お願いしたいけれど、対応してもらえない仕事なのかわからない」という場合でも、お気軽に事務局まで相談していただければと思います。センターは収益を目的とする団体ではないので、比較的、割安な価格で仕事を依頼することが可能です(表1参照)。※基本的に現場と同地区(只見、朝日、明和)の会員が仕事を担当することになります。

準的な職種のみとなっており、前述した「委任」の仕事も含め、表以外にも様々な内容の仕事をすることが可能です。就業機会についても、全ての会員が公平に働けるよう「ワークシェアリング」(一人当たりの労働時間を短くし、多くの人が働けるようにする仕組みのこと)や「ローテーション就業」といった方法を取っています。

**会員と依頼件数の増加に向けて**

町内でも現在、センター会員となった皆さんが草刈りや雪囲いなどの業務に取り組んでいます。現在の就業形態は、仕事の完成を目的とする「請負」と仕事の実施を目的とする

る「委任」のいずれかです。前者は清掃や農作業など、後者は高齢者の見守り、話し相手、留守番などが該当します。受託開始からこれまでは、「請負」形態の業務実績が大半を占めています。主な仕事内容は左記表1のとおりですが、ここに掲載しているものは標

只見町シルバー人材センター

理事長 かんけ ふじろく 菅家 二千六 さん



シルバー人材センター制度については、20年前頃から導入すべきか否かの議論が始まりました。様々な事情で当時は導入できませんでしたが、近年、町をとりまく環境の変化や導入すべきとの声が多く上がっていたこともあり、設立できて本当に良かったと思います。最近、求められる仕事の中身も多岐に渡っており、会員もそれに応えられる技術を身に付けなくてはなりません。会員の皆さんには、センターでの活動が自身のレベルアップにつながるという前向きな気持ちで働き、喜びや生きがいにつながっていただきたいです。

「只見町シルバー人材センター」としての活動が始まって数ヶ月、今後は同制度を多くの町民に理解してもらい、会員と依頼件数を着実に増やしていきたいと思っています。センターが町内産業の「すき間を埋める」役割を果たすとともに、会員の生きがいとなり、多くの人を笑顔にできる組織となるようこれからの活動に力を入れていきたいです。



家の片づけ・清掃作業



雷囲い作業



## 表2

### ★シルバー人材センターで働きたい時

- ①センターの専用電話(080-9252-3789)へ連絡
- ②入会申込書・就業承諾書を提出
- ③理事会の承認を受け、会員登録
- ④実際の就業 ※年会費2,000円の納入が必要です。

### ★シルバー人材センターへ仕事を依頼したい時

- ①センターの専用電話(080-9252-3789)へ連絡
- ②センターの地区連絡員が業務の依頼場所や内容を確認
- ③契約(必要な料金の算出)
- ④作業実施
- ⑤請求書の送付

※ご依頼から作業の実施まではお時間をいただくようになりますのでご了承ください。

### 仕事を「する側」と「頼む側」 双方により良い効果を

7月下旬に仕事の受託を開始してから数ヶ月、会員として働いている皆さん(11月末時点で39人)より「これまでには外に出ることが少なかったが、会員となり外で活動する機会が増え、やりがいを感じる」「活動の中で地域の人たちと交流できて楽しい」などの声が上がっています。定年退職後などであっても社会に参加し、自分が望む形で働き続けられることは非常に大切です。

会員として働くメリットの一つに「ライフスタイルが大きく変わらないこと」があります。会員が働く場所は町内だけで、移動に関する大きな負担(町外への通勤等)はありません。特殊な技術の習得なども不要で、それぞれが得意とする分野で活躍することが可能です。また、短期・臨時の仕事がメインとなるため、働きながら趣味や余暇の時間も十分に取ることができます。

シルバー人材センター制度が機能すると、会員と発注者の双方により良い効果をもたらすとともに、高齢者の皆さんに対する「働く機会の増加」「福祉の増進」などの課題解決につながる事が想定されます。そうした良い影響を生み出すことができるよう、今後は同制度の周知にも力を入れ、会員数や依頼件数の増加に結び付けていく予定です。

会員にとっても発注者にとっても、センターでは幅広い業務に対応することが可能です。高齢者の皆さんが生き生きと、自分に合った形で働き続けられる只見町であるために、まずは事務局までご相談をお願いします。

※上記表2を参考にご連絡ください。



## お問い合わせ先

只見町シルバー人材センター事務局

☎080-9252-3789 (只見町保健福祉課内)

センターに仕事を依頼したい場合や会員として働きたい場合等に上記番号までご連絡ください。

「奥会津たみみの森キャンプ場」での草刈り作業





# 「先達に学び 未来を創造する」只見町60年の軌跡

## 第49回 只見町文化祭

11月3日、第49回を迎えた「只見町文化祭」が只見振興センターを中心に開催され、町内外から多くの方々が来場しました(来館者数は延べ1,540人)。今年は、只見町が町制施行60周年を迎えたことから『先達に学び 未来を創造する』只見町60年の軌跡』をテーマに、この60年の歩みや豪雨災害(平成23年)を振り返る企画などがメインコーナーで実施されました。

開館式では、毎年恒例となった「わたしの自慢のごはんコンテスト」の表彰や、今年3月に只見高校を卒業し、メジャーデビューを目指して活動する大竹涼華さんのライブが行われました。

その後、会場内では作品の展示に加え、各種体験(つる細工・俳句作り・茶道等)や只見高校のPRが行われた他、民話茶屋(昔語り)や「ただみコミュニティクラブ」主催の野球教室が人気を集めました。



▲大竹涼華さんの  
オープニングライブ



▲「わたしの自慢のごはんコンテスト」入賞者の皆さん



▲絵画や書、工芸作品など  
たくさんの作品が展示



▲民話茶屋での昔語り



▲東北高校野球部出身の皆さんが指導者として参加した野球教室

### 今回のメインコーナー

- 町制施行から60年の歩み写真展示
- 平成23年豪雨災害写真展示
- 過去10年間の沿革パネル展示
- 八十里越調査事業関係の展示
- 国道289号工事進捗状況展示
- 只見線をイメージしたジオラマ走行 など



▶手  
工  
芸  
の  
体  
験  
コ  
ー  
ナ  
ー





町制施行60周年記念事業



# 文化講演会&

# 「自然首都・只見ユネスコエコパーク」情報発信講演会

文化講演会

『お天気のみみず、全部教えます！』

『気象災害にどう備えるか？』



11/3 森田 正光さん

11月3日、只見町文化祭の開催に合わせて、季の郷湯ら里で文化講演会が行われました。講師は、現在も「Nスタ」(TBS)でお天気キャスターを務める気象予報士の森田正光さんでした。

講演では、“天気の仕事をもっとお伝えしたい”という森田さんの想いのもと、

- ①降雨や台風、前線など、天気的基本的な部分に関する仕組み
- ②昨年の西日本豪雨や福島県にも甚大な被害をもたらした台風19号について(気象解説)
- ③地球温暖化を原因とする近年の異常気象の背景や今後の展望

についてわかりやすくお話しされました。

講演終了後には「只見の雪」に関するものなど、参加者からたくさんの質問が寄せられました。



▲【文化講演会】「Nスタふくしま」(TUF)でお天気キャスターを務める大野さん(右)も参加

情報発信講演会

『只見町の自然に魅せられて』



11/23 崎尾 均センター長

11月23日、季の郷湯ら里で「只見ユネスコエコパーク」に関する情報発信講演会が行われました。講師を務めた新潟大学佐渡自然共生科学センターの崎尾均センター長は、只見ユネスコエコパーク支援委員会をはじめ、様々な方面で只見町のためにご尽力いただいています。講演では、

- ①新潟大学の学生等と実施している沼ノ平総合学術調査の内容や結果
- ②台風19号が町内の植物(杉沢のユビソヤナギ林等)に与えた影響

などについて解説された後、

『町民の皆さんがエコパークを理解し、関連する取組に積極的に参加することの大切さ』

をお話しされました。

講演終了後には「只見の自然のPR方法」など、たくさんの質問が寄せられました。



▲【情報発信講演会】写真を多用し、町内の貴重な植物などが紹介された

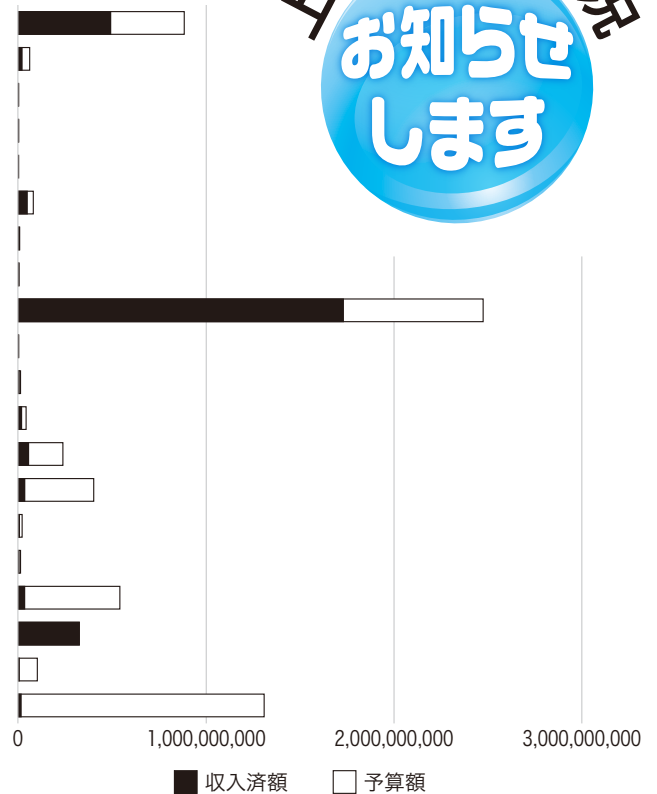


# 上半期財政状況 お知らせ します

## ◆一般会計(歳入)

(単位：円、%)

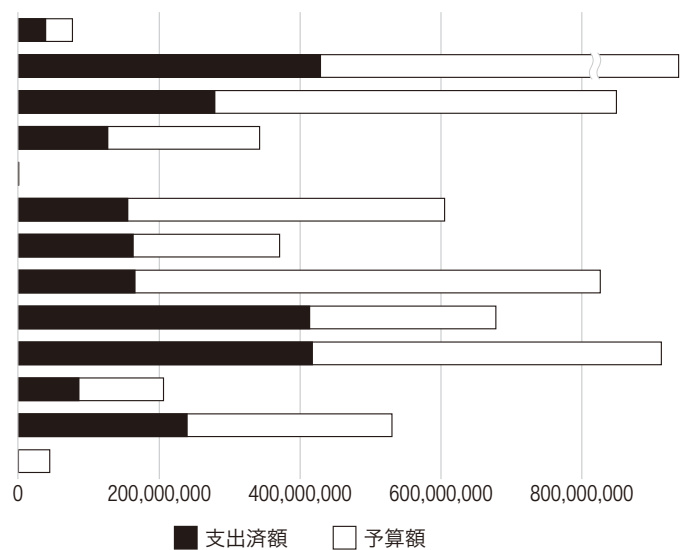
款	款名称	予算額	収入済額	収入率
1	町税	882,808,000	491,033,680	55.62
2	地方譲与税	59,744,000	19,106,000	31.98
3	利子割交付金	500,000	109,000	21.80
4	配当割交付金	800,000	222,000	27.75
5	株式等譲渡所得割交付金	800,000	0	0.00
6	地方消費税交付金	79,000,000	46,800,000	59.24
7	自動車取得税交付金	6,400,000	4,404,000	68.81
8	地方特例交付金	2,135,000	2,135,000	100.00
9	地方交付税	2,474,476,000	1,730,257,000	69.92
10	交通安全対策特別交付金	766,000	325,000	42.43
11	分担金及び負担金	10,990,000	3,704,150	33.70
12	使用料及び手数料	40,654,000	16,619,596	40.88
13	国庫支出金	236,579,000	53,835,000	22.76
14	県支出金	400,754,000	33,498,651	8.36
15	財産収入	19,502,000	5,138,630	26.35
16	寄附金	11,001,000	2,975,152	27.04
17	繰入金	539,956,000	33,000,000	6.11
18	繰越金	323,885,000	323,885,895	100.00
19	諸収入	100,439,000	4,379,480	4.36
20	町債	1,308,300,000	14,200,000	1.09
	合計	6,499,489,000	2,785,628,234	42.86



## ◆一般会計(歳出)

(単位：円、%)

款	款名称	予算額	支出済額	支出率
1	議会費	76,653,000	38,613,211	50.37
2	総務費	1,057,213,000	428,880,878	40.57
3	民生費	849,140,000	278,845,403	32.84
4	衛生費	342,431,000	126,847,960	37.04
5	労働費	269,000	83,418	31.01
6	農林水産業費	605,130,000	155,224,859	25.65
7	商工費	370,826,000	162,904,277	43.93
8	土木費	826,204,000	165,486,248	20.03
9	消防費	677,920,000	413,475,687	60.99
10	教育費	912,935,000	417,358,166	45.72
11	災害復旧費	205,971,000	85,835,473	41.67
12	公債費	530,386,000	239,510,427	45.16
13	予備費	44,411,000	0	0.00
	合計	6,499,489,000	2,513,066,007	38.67



## ◆特別会計

(単位：円、%)

会計名	予算額	歳入		歳出		
		収入済額	収入率	支出済額	支出率	
1	国民健康保険事業	517,714,000	195,432,805	37.75	181,881,920	35.13
2	国民健康保険施設	436,146,000	92,496,425	21.21	143,226,362	32.84
3	後期高齢者医療	144,000,000	19,616,100	13.62	54,853,480	38.09
4	介護保険事業	758,390,000	352,918,827	46.54	308,814,694	40.72
5	介護老人保健施設	337,823,000	72,506,220	21.46	135,382,974	40.08
6	地域包括支援センター	14,000,000	1,378,900	9.85	5,321,719	38.01
7	簡易水道	272,193,000	27,095,840	9.95	111,292,692	40.89
8	集落排水事業	264,600,000	41,657,625	15.74	109,594,819	41.42
9	朝日財産区	13,700,000	13,623,055	99.44	118,500	0.86
	合計	2,758,566,000	816,725,797	29.61	1,050,487,160	38.08

町の財政事情がどのような状況にあるのかを理解していただくために、令和元年度上半期(4月1日～9月30日)の予算の執行状況をお知らせします。  
歳入の収入済額は9月までに実際に収入となった金額で、歳出の支出済額は実際に支出した金額です。  
これは、只見町財政状況等の公表に関する条例による公表です。



児童の歯科衛生のために尽力  
赤塚院長が  
学校保健功労者表彰を受賞



▲赤塚院長(中央)と赤塚歯科医院の皆さん

10月、福島県学校保健会による「学校保健功労者表彰」の受賞者が発表され、赤塚歯科医院(只見の赤塚公寿院長が同表彰を受けられました。この表彰は、学校保健の進展に寄与し、本県学校保健の振興に功労のある人・団体を表彰するものです。赤塚院長は、昭和59年から現在までの約35年間、只見小学校の学校保健医として児童の歯科衛生に努められてきた点や昨年度と今年度、同校が「福島県学校歯科保健優良校」として表彰されたことに大きく貢献された点などの功績が認められ、今回の受賞となりました。

いじめをなくすために  
只見町いじめ問題対策連絡協議会



▲いじめ防止に向けた話し合いが行われた

10月23日、役場で「只見町いじめ問題対策連絡協議会」が開催され、町教育委員会と各学校長や駐在所、児童委員などからなる協議会委員が出席しました。会議では、各学校のいじめ防止基本方針と現状について話し合いが行われ、いじめ防止のためには学校と保護者との情報共有が特に重要であること、家庭での手伝いは責任感や自尊心を育み、いじめをしない人格につながるなどの意見が委員から出されました。会議を通じ、いじめによる事件を防ぐために学校や関係機関の連携を強め、いじめの防止に努めていくことが再確認されました。

お酒を楽しむリゾート列車  
「越乃Shu\*Kura」が只見駅に初来駅



▲ツアーで来町された皆さんをお出迎え

10月29日、JR東日本の列車「越乃Shu\*Kura」が初めて只見駅に来駅し、乗客の皆さんを関係者らがお出迎えしました。同列車は、2014年に運行を開始した「酒」をコンセプトとする観光列車で、通常は上越妙高駅〜十日町駅間を運行しています。車内にはイベントスペースやサービスカウンターが設置され、季節毎の利き酒やジャズ・クラシックの生演奏、新潟県内の酒蔵による各種イベントなどを楽しむことができます。人気の列車です。



▲車体は藍下黒と白を基調としたデザイン(カラーでお見せできません申し訳ございません)

今回は、JR新潟支社が同列車を活用したツアーを特別に企画してくださり、新潟方面から多くの方々が来町しました。只見駅では、町やJR社員、各事業者、只見線愛好会などの皆さんが横断幕を持ち、歓迎のお出迎えをしました。また、只見の地酒(岩泉、ねっか、どぶろく)・山菜のふるまいや田子倉湖周辺での観光案内などが行われました。只見線運休区間の復旧に向け、町としても関係機関と協力し、只見線関連の事業を進めていく予定です。



## スポーツの秋に健康増進!

### 「からだ塾」でノルディックウォーク

11月4日、健康増進と秋の紅葉を楽しむことを目的に「からだ塾（ノルディックウォークA.T.只見湖岸）」が行われ、町内から12人が参加しました。このイベントは只見振興センターが主催し、ただみコミュニケーションクラブの指導で実施したもので、2本のポールを使うノルディックウォークにより通常のウォーキングに比べて高い運動効果が期待できます。参加者は、2つのコースに分かれて只見湖周辺を歩き、汗を流すとともに、紅葉に包まれた美しい景色を満喫しました。



▲ポールを使い、各コースを歩いた参加者の皆さん

## 温暖化をもっと深刻なことを考える

### 「くだれ一人取り残さないために」僕の国キリバスからのメッセージ」

11月6日、ESD海洋教育として、日本キリバス協会のケンタロ・オノ代表理事による講演会が只見中学校で開催されました。オノ氏は仙台市生まれですが、15歳のときにキリバスに留学。卒業後も滞在し、キリバス国籍を取得しました。キリバスは平均海拔2mなどの理由から、地球温暖化や気候変動による影響を受けやすく、最悪の場合、海面上昇によって国土が水没してしまう可能性があります。オノ氏は、講演を通じて地球温暖化を防止するため、環境に配慮した取組の重要性などを訴えました。



▲キリバスの正装に身を包み、熱い想いを生徒たち(只見小・中学校)に伝えたオノ氏

## 只見町、空き家と実家、対策セミナー

### 「空き家と実家のこれからを考える」

11月9日、同セミナーが只見振興センターで行われ、町内から15人が参加しました。このセミナーは、「実家の行く末」について今から意識してもらおうことを目的に、フリージャーナリストの三星雅人氏を講師にお招きして開催されたものです。セミナーでは、全国的な空き家の放置問題や特定空き家の説明、相続に関すること、空き家になる前にできる取組などについて解説があった後、町民の方から町内の空き家の活用事例、事務局（町地域創生課）より補助制度などが紹介されました。



▲空き家問題への理解・対策を深めたセミナー

## 只見町文化祭事業

### 町文化協会の「芸能発表会」

11月10日、町文化祭（11月3日開催）事業の一環として「第24回芸能発表会」が季の郷湯ら里で開催されました。芸能発表会は、町の文化協会が文化祭に合わせて毎年開催しているもので、今回は9団体（宝生流謡曲研究会只見松楓会、只見つくし会、只見民謡会、瞳の会、只見音楽研究会、はぎの会、コーラスはなみずき、蒲生花輪踊り保存会、天領只見仙嶽太鼓保存会）の皆さんが出演し、練習の成果を披露しました。会場には町民を中心に多くの方々が訪れ、舞踊や演奏を楽しんでいました。



▲華麗な舞や迫力のある演奏などを披露した皆さん



## 急増する詐欺に要注意 スマホ・ケータイ安全教室を開催

11月11日、町振興センターが主催する「スマホ・ケータイ安全教室」が只見振興センターで開催され、町内から5人が参加しました。

初めに、只見駐在所岩崎所長より、県内での詐欺被害状況や事例などの説明があり、留守番電話の活用や「家族だけの合言葉を決める」「お金の話を疑う」などの注意点が解説されました。また、NTTドコモから講師をお招きし、「架空請求詐欺」「特殊詐欺」等への対策や「災害時における伝言板の活用事例」が映像を交えて紹介され、スマートフォン等を安全に活用するための知識を得る貴重な機会となりました。



▲架空請求詐欺などへの対策について学ぶ参加者

## 只見町ブナセンター企画展「只見の地形と地質」関連して 講座と自然観察会を開催

11月16日に只見町ブナセンター主催の講座「地質からひもとく只見の自然」、17日に自然観察会「晩秋の只見で地形と地質、植生を観察しよう」が開催され、町内外から多くの方々に参加しました。

講座では、元福島県立博物館専門学芸員の竹谷陽二郎氏を講師にお招きし、只見の地質の成り立ちや特徴的な地形を紹介していただきました。また、観察会では布沢層(梁取)やただみ観察の森(梁取のブナ林)などで地質・植生を見学しました。講座と観察会を通じ、只見の地形とその上に成立する自然環境について深く学ぶことができた2日間となりました。



▲布沢層を解説する竹谷氏と観察会に参加した皆さん

## 食材を通じ交流を促進 柏市と学校給食の食材交換を実施

11月20日、ふるさと交流都市の千葉県柏市と只見町の「学校給食食材交換事業」が行われ、町内の小中学校では柏市産ブルーベリーを使った給食が提供されました。

同事業は、両市町の交流と食育推進などを目的に平成24年度から実施されており、今年度、只見町からは(株)伊南川(梁取)が生産した「コシヒカリ」を柏市立柏第八小学校に提供しました。

明和小学校では、全校児童に柏市との交流や食材交換の内容、ブルーベリージャムの製造工程などが紹介され、児童たちが美味しい給食を味わいながら、食材を通じた交流を深めました。



▲美味しいブルーベリージャムを味わった児童の皆さん(明和小学校)

## 会津短大の派遣講座により プログラミング教育研修を実施

11月21日、町内小学校の先生を対象とした「プログラミング教育研修」が只見中学校で開催され、16人(先生や関係者)が参加しました。

同研修は、会津大学短期大学部の派遣講座を活用し、町内におけるプログラミング教育の推進を目的に初めて開催されたものです。研修では、8歳から使用可能と言われる無償プログラミングソフト「Scratch(スクラッチ)」を題材に、実際のプログラミング作業や小学校(会津若松市)における導入事例の紹介などが行われました。



▲中澤教授(会津大学短期大学部)を講師にお招きし、研修が行われた



## 只見町を第二の故郷に

# 山村教育留学生在が農家民泊を体験

10月19～20日、只見高校の山村教育留学生(1年生)11人が農家民泊体験を行いました。今回は只見地区のお宅3軒にお世話になり、農家の皆さんの指導を受けながら、野菜の収穫や農地の後片づけなどを行いました。作業後には、餅やマトン焼き、新鮮な野菜を使った料理をいただいたり、民芸品の作り方を教わったりと、留学生たちは貴重な時間を過ごしました。

11月には、自主的に作業を手伝う留学生の姿も見られ、留学生と町民の皆さんが交流を深める機会となりました。



▲体験を行った留学生と受入農家の皆さん



▲6年生による見学交流会

## 各地の小中学生剣士集う

# 第5回 河井継之助杯只見剣道大会

10月20日、今年で5回目となる同剣道大会が町民体育館で開催され、町内外から64名・19チームの小中学生剣士が参加し、熱戦を展開しました。恒例の小学6年生による「河井継之助記念館」見学交流会も行われ、歴史を知り親睦を深める大会となりました。なお、優勝者は以下のとおりです。

個人	若葉(未防具)	共通	会津白虎剣士会	石幡大翔	団体	1部 (小5・6)	伊南武道館A
	小4以下	男子	会津白虎剣士会	平野 昊			
		女子	会津白虎剣士会	鈴木美優			
	小5・6	男子	伊南武道館	藤小次郎		2部 (小4以下)	伊南武道館A
女子		伊南武道館	羽染茉弥				

## 落語を通じ、多くの方々と交流

# 三遊亭鳳楽師匠の独演会を開催

10月26日、落語家・三遊亭鳳楽師匠の独演会が季の郷湯ら里で開催され、約100人の方が町内外から来場しました。同会は今年で14回目を数える毎年恒例の行事となっており、師匠自身も「只見町観光特別大使」として、様々な場所で本町のために活動いただいています。今回は落語2席(「鮑のし」、「夢金」)が演じられ、会場が大きな笑いに包まれました。

また、前日25日には、小川地区の65歳以上の方が集い活動する「小川いきいきサロン」内でも独演会(古典落語「町内の若い衆」)が行われ、地区の皆さんと交流を深められました。

併せて、両日に渡り東京から同行された清華香月さんによる日本舞踊で彩りが添えられました。



▲湯ら里で開催された独演会



## 皆で集まり楽しいひとときを 「お楽しみ昼食会」を開催

10月29日、只見町社会福祉協議会が主催する「お楽しみ昼食会」が季の郷湯ら里で開催され、町内から112人が参加しました。同会は、一人暮らしのお年寄り(70歳以上)を招待し、皆さんとの交流を楽しんでもらうことを目的に、毎年開催されています(今回は民生児童委員協議会が共催)。

当日は、アトラクションとして民生児童委員協議会の方々が踊りなどを披露した他、明和保育所の園児も参加し、会場を盛り上げました。



▲会場を盛り上げる明和保育所園児

## 練習の成果を町民に披露

## 只見町の小・中学生による音楽祭を開催



▲全校生徒(只見中学校)の合唱

11月7日、「第57回只見町小中学校音楽祭」が只見中学校体育館で開催され、集まった保護者や地域の方々など多くの人たちが会場を訪れました。

会場では、各小学校の児童による合唱や合奏、続いて只見中学校の特設合唱部と全校生徒による合唱が披露されました。

最後に、小・中学生と来場した皆さんで「ビリーブ」の合唱を行い、会場には美しい歌声が響き渡り、大きな一体感に包まれました。

## 寒くなくてもみんなで元気に！ かるがもクラブ運動会

11月9日、只見振興センターで「かるがもクラブ運動会」が開催され、町内の未就学児とその保護者、民生児童委員の皆さんなどが参加しました。

かるがもクラブは、親子と地域の交流の場として定期的に開催されており、民生児童委員の方々にサポートしてもらいながら、様々な行事やイベントを行っています。

当日は「障害物レース」や「風船ころがし」などが行われ、子どもたちは元気いっぱい体に動かしました。今回はお父さんの参加も多く、普段よりもゆっくり子どもとふれあい、楽しく過ごすことができたようでした。



▲風船を追いかける子どもと民生児童委員



## 只見町×RIZAP(ライザップ)

# 「イイからだづくりプログラム」で健康増進!

11月11日より、只見町とRIZAP(ライザップ)が連携する健康増進事業「イイからだづくりプログラム」が今年度も始まり、町内から20人の皆さんが参加しています。同事業は「3ヵ月でカラダを変える」をテーマに、町の健康課題である「肥満」「糖尿病」の予防や改善のため、昨年度から行われているものです。

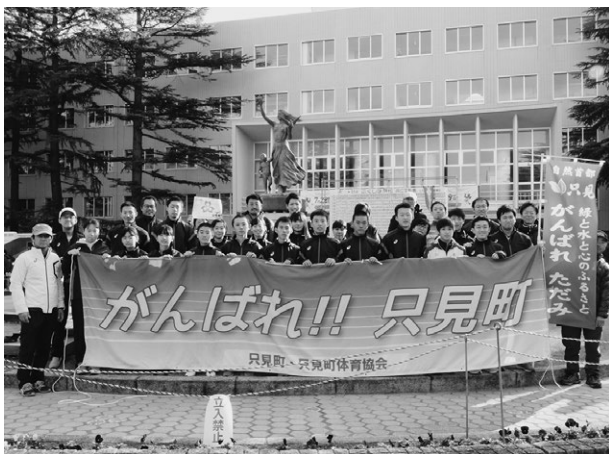
新たな参加者として初回を迎えた皆さんは、体重・血圧等を測定して3ヵ月後の目標を決め、グループに分かれて低糖質の食生活や運動に関する講義を受けた後、筋力・柔軟トレーニングを行いました。プログラムは全8回、2月上旬まで続く予定です。



▲食生活に関する指導を行うライザップトレーナー(保健福祉センター)

## 第31回「ふくしま駅伝」

# 只見町チームの選手たちが力走



▲選手の皆さん、チームをサポートした関係者の皆さん(ゴール場所の福島県庁前にて)

11月17日、第31回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会「ふくしま駅伝」が開催され、只見町チームが全16区間(94.8km)を駆け抜けました。

大会5日前(12日)の結団式及び壮行会でそれぞれの目標を掲げた選手たちは、全員が素晴らしい走りを見せ、6時間13分21秒「総合51位、町の部28位」という成績を収めました。

今回も中学生を中心に若い選手たちのエントリーが多く、選手をはじめとするたくさんの方々が、レースを通じ貴重な経験を得ることができました。

### ●只見町チーム選手一覧

1区	鈴木 来菜(只見中)
2区	菅家 尚真(田村高)
3区	鈴木 詠大(只見中)
4区	梁取 水咲(南会津広域消防)
5区	菅野 慧汰(只見中)
6区	馬場那央也(作新学院大)
7区	横山 皓大(只見中)
8区	酒井 駿(只見中)
9区	三瓶心乃花(只見中)
10区	矢沢 裕也(役場)
11区	目黒 楓華(只見高)
12区	大竹 力(南会津高)
13区	目黒 元基(只見中)
14区	山内 太喜(只見中)
15区	三瓶 楓(只見中)
16区	山田 亮(只見小教員)



▲結団式及び壮行会で1人ずつ挨拶する選手たち



## 只見の絶品「新そば」を堪能

### 町内各地でそばまつりを開催

1月9日に「只見新そばまつり」が季の郷湯ら里で、23日に「朝日そばまつり」が朝日振興センターで開催され、町内外から参加した皆さんが只見の新そばを堪能しました。

前者は広く町内外の方を、後者は町民の方を主な対象に「只見のそば」の魅力を伝えることを目的に行われており、今年も年配の方から子どもたちまで多くの方が参加しました。



▲いわき市からお越しの皆さん（9日）



▲そばを味わいながら談笑する町民の皆さん（23日）

## 子どもたちの踊りや演技に夢中

### 町内3地区の保育所でおゆうぎ会

1月下旬、3地区の保育所でおゆうぎ会が行われ、保護者や地域住民など多くの方が参観に訪れました。園児たちはこの日のために練習してきた「劇」や「ゆうぎ」などを全力で披露し、可愛らしく一生懸命な姿に、大きな拍手が何度も送られていました。（※朝日保育所の写真は表紙に掲載）



▲【21日 明和保育所】「こびとのくつや」（劇）



▲【22日 只見保育所】「U.S.A」（ゆうぎ）

## 食生活改善推進員の皆さんが

### いい夫婦の日に「婚礼膳」を再現

1月22日、奥会津五町村活性化協議会が主催する「伝統食の婚礼膳」体験イベントが叶津番所で行われました。同事業は、魅力的な地域文化の発信を目的に実施されたもので、大正7年頃に食されていたとされる「只見の婚礼膳」を只見町食生活改善推進員の皆さんが再現しました。

当日は「いい夫婦の日」ということもあり、マスコミ関係者らに加えて町内外から2組の夫婦をご招待し、婚礼膳を味わってもらったと同時に、只見古来の食文化や当時のならわしなどについて紹介をしました。



◀再現した婚礼膳。明治時代に使われていた器（町教委保管）を使用



▲婚礼膳の盛り付けなどを行う推進員の皆さん



## 広報ただみ診療所

朝日診療所

医師 鷓山 保典



### 「病気を防ぐ食事療法」

だんだん寒くなってきましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか？寒い冬に心筋梗塞や脳梗塞などの発症が増えると言われています。それらの病気は、発症する前の予防が大切です。そこで、今回は予防のために気をつけるべき食事療法についてお話していきます。

かかりつけのお医者さんで、塩分の摂取量やビタミン、糖質の取り方など、熱く指導を受けていらっしゃる方も多いと思いますが、今回は「脂肪酸」を取り上げてみます。テレビ番組でもよく「飽和脂肪酸」や「不飽和脂肪酸」といった言葉を耳にしますよね？飽和とは～、不飽和とは～、何やら説明されますが、何が何だかよくわからないことばかりです。それに、どちらの方が健康的な脂肪酸なのか迷ってしまいますよね。そのため、ここでは「飽和脂肪酸＝肉、動物系！」、「不飽和脂肪酸＝魚、植物系！」と単純に覚えてしましましょう。そうすることで、イメージしやすいですよ。そうです、イメージの通り植物系、魚の不飽和脂肪酸の方が、健康的な脂肪酸なのです。

実際に、「飽和脂肪酸（肉、動物系）」の摂取を減らして「不飽和脂肪酸（魚、植物系）」を増やすと心筋梗塞の発症を抑制できたという研究報告があります。そのため、なるべく不飽和脂肪酸、魚や植物系を含む食物を採るとよいでしょう。ただ、ここで注意なのは植物系と言っても、ここでは大豆製品やナッツ類、植物性油脂のことを指します。植物だと言っても、誤って炭水化物（米、そば、うどん、パスタなど）に置き換えてしまうと、予防効果がないので注意が必要です。

みんなで食事に気をつけつつ、厳しい冬を乗り越えましょう。

以下、おさらいです。

- 飽和脂肪酸（なるべく減らす）  
赤身のお肉、乳製品、加工肉、動物性油脂（加工肉は、ハム、ソーセージ、ベーコンなど）
- 不飽和脂肪酸（なるべく増やす）  
鶏肉、魚、大豆製品、ナッツ類、植物性油脂

## 地域おこし協力隊として Vol.61

只見町教育振興協力隊

わたなべ まりこ  
渡部 真梨子



### 「質問をするときは」

勉強をしているときに、分からない問題が出てきたらどうしますか？教科書やノート、解答を見る、友達に解き方を聞く、など色々方法はあると思います。それでも分からなかったら？もう投げ出したいくなりますよね。ですが、分からない問題を分からないまま放置するのが一番良くありません。そういうときは先生に質問をすることが大切です。質問をするときのポイントは、「自分はここまでこういうふう考えたけど、分かりません。」というようにすることです。

「先生、この問題全部分かんない」というように、漠然とこれが分からないというふうに質問をするのではなく、自分がどこでつまづいているのか絞って質問をすることが大切です。

勉強は積み重ねです。分からない問題が出てきたということは、必ずそれ以前に理解できていない部分があるはず。特に受験生は後戻りなんて…と焦る気持ちがあるかと思いますが、分からない部分まで戻るということが、実は一番の近道だったりもします。



# 町史

とっておきの話

305

早稲田大学非常勤講師

久野 俊彦

## 『書物の郷』只見町での書物調査フィールドワーク③

### ― 玄純房祐俊の学問と書物を求める旅 ―

#### 会津各地に所蔵される

#### 祐俊書写の書物

玄純房祐俊は、黒谷の原田祐夫家にあつた『神皇正統記 只見本』を書写した僧です。中世の書物(写本)は、師から弟子へと学問が伝授された時に、弟子が写すことを許されたものです。写本の奥書には、伝授の証として書写した時と場所、師と弟子の名と年齢が記されています。『神皇正統記 只見本』も、これによって来歴が判明したのです。今回は、その玄純房祐俊(一五四七〜一六〇七以降)の足跡をたどってみましょう。

祐俊が書写した書物は、只見町では黒谷の瀧泉寺に多く所蔵されています。只見の修験吉祥院(五十嵐義博家)にも伝えられました。また、金山町玉梨の常楽寺、南会津町糸沢の龍福寺、会津若松市相生町の自在院にも所蔵されています。さらに、か

つて下郷町水抜の修験円学院にあつた祐俊筆の『和漢朗詠集私註』(現、慶應義塾大学蔵)を含めると約一五〇点にもなります。

#### 上方から下向した祐俊

祐俊は「関東二度下向」(「開心秘決六」常楽寺蔵)と記しており、京都を中心とした上方(畿内)の出身で、関東・東北に二度下向した僧でした。天正四年(一五七六、二十九歳)から天正七年(三十二歳)の写本が早いもので、祐俊が上方で伝授して書写したのでしょう。

一度目の下向は、天正九年(三十四歳)から天正十九年までの一〇年間です。その前半、天正十三年(三十九歳)までは、祐俊は談義所(学問所)である下野国宇都宮在の金剛定寺(栃木県宇都宮市上桑島町)で、師の長善房祐宜(一五三六〜一六一三)から伝授を受けて書写しています。

長善房祐宜は、下野国の出身で紀伊国の高野山金剛峯寺・根来寺、京都の醍醐寺などで教学の修習をした学僧で、慶長十年(一六〇五)に真言宗智山派の本山智積院の二世住職に就いた高僧です。祐宜は天正七年に上方から下野国にくんだり、天正十六年まで金剛定寺の住持となり、以後は岩城の葉王寺(いわき市四倉町)の住持となります。

祐宜・祐俊の師弟の行動がほぼ重なることから、祐俊は上方で学んだ後、師の祐宜とともに下野国にくだったと推測されます。天正十一・十二年に京都の醍醐寺光台院の高僧亮淳が布教のために関東・東北に下向した時に、祐俊が右筆(書記僧)をつとめたのも、認められた高い学識があつたからです。

#### 祐俊の学問と

#### 書物を求める旅

祐俊は、天正十三年から十九年まで常陸国下妻、下総国結城、上野国佐貫(板倉)、武蔵国羽生・菖蒲、下野国足利の各地を訪れて書写しています。

とくに足利では覚本寺(栃木県足利市田島町)の秀海に師事してさかんに書写しています。その間、天正十五年に上野国で『神皇正統記』を、天正十八年に足利で『和漢朗詠集私註』を書写しています。長年求めていた書物をやつと手にできた喜びを奥書に記しています(『拾古鈔』瀧泉寺蔵)。

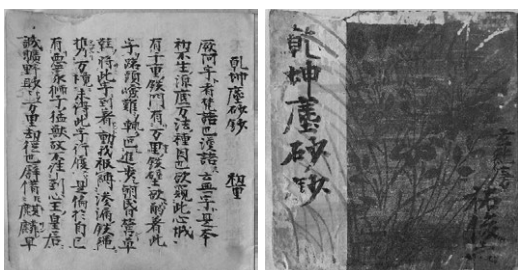
その後上方にのぼり、文禄二年(一五九三、四十六歳)に大和国長谷寺、翌年に伊勢国金剛証寺を訪れて書写しています。

二度目の下向は、文禄五年(一五九六、四十八歳)に東白川郡で書写した時からで、慶長四年(一五九九、四十九歳)に龍福寺(南会津町糸沢)で書写しています。このころから甚蕤房俊雅と名のついています。

慶長十二年(五十七歳)に岩城の葉王寺で書写したかと推測できる写本があります。その後も会津周辺に滞在したため、多くの書物が残されたのだと考えられますが、以後はわかりません。

#### 祐俊が残した文化遺産

このように祐俊は、一か所にとどまる僧ではなく、仏教や文学の学問を求めて旅ゆき、書物の書写を続けた学僧でした。天正十一年三月九日に、「鶯やけふからおれも旅の人」(「秘蔵宝繪卷下」自在院蔵)と、祐俊がみずから表現しています。その旅と筆の功績によって、今日まで多くの書物が文化遺産として残ったのです。その中には、天下の孤本(世界のどこにも所蔵がない唯一の書物)である『乾坤塵砂鈔』(禪と密教の教理書、瀧泉寺蔵)も含まれています。



▲世に唯一の『乾坤塵砂鈔』(天正14年 祐俊書写)





# 町民文芸

## 只見短歌会

十月詠草

大塚栄一

指導

今年また頂きし新米こめのありがたく封切ればほのか糠の匂ひす

馬場 八智

裏庭に真赤に咲きし曼殊沙華死人花とも捨てんと迷ふ

渡部ゆき子

旅先に孫の反応浮かべつつみやげ選ぶは至福の時ぞ

目黒 富子

十九号台風ニュース悲惨なる状況映像わが胸うたる

関谷登美子

刈り取りの終はりし稲田に近づけば散らばる藁から雀飛び交ふ

渡部ヨリ子

月末の支払ひ多く通帳の残高見ては溜息をつく

新国由紀子

声に出し唄へぬわれは懐かしき昭和演歌の歌詞めぐりあつ

新国 洋子

(出詠順)

## 只見俳句会

十一月定例会

目黒十一

指導

小春日やそろりそろりと猫が行く  
山並みを薄化粧して初冠雪

信

晩菊の一つ一つに頭べ垂れ  
母遺品針箱見つめ秋深し

都

実南天菰着せられてしばられて  
自然暑のかたちも笑い並べ干す

弘子

冬麗や古寺落慶の鐘の音  
転読の声かさなりて冴ゆるかな

恒夫

しばらくの発車待つ間や紅葉山  
稽田や濁りの残る信濃川

礼

見舞いれはぶどう三粒漸くに  
軒下にスタンバイして除雪車よ

一穂

身重なる娘如何にや栗拾う  
鈴の音や熊の残せし栗拾い

修一

十二月八日迫撃砲手二等兵  
梵鐘の余韻嫋々雪の葬

吉児

下刈りに逃れし野菊夕間暮れ  
桜落葉球巻き上げてグラウンドゴルフ

幸生



# 今月のお知らせ

## 電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係 広報広聴係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

## お知らせ

「家計とお金の悩みに関する無料相談会を開催します」

財務省福島財務事務所では、専門相談員が家計や借金  
の状況等をお伺いし、家計の  
見直しに関するアドバイスや、  
必要に応じて弁護士などの専  
門家に引継ぎを行う相談会を  
開催いたします。返しきれな  
い借金でお悩みの方、生活資  
金不足により返済困難な方な  
ど、どなたでもご利用いただ  
けます。

まずは一人で悩まず、お気  
軽にご相談ください。

【相談無料・秘密厳守】

### ●日時

12月17日(火)13時～17時  
(予約締切日 12月16日)

### ●会場

会津地方振興局(福島県会  
津若松合同庁舎)本館  
1階会議室(会津若松市追  
手町7-15)

### ●予約受付先

財務省福島財務事務所  
理財課

### ●受付時間

月～金曜日(祝日除く)  
8時30分～12時  
13時～16時30分

☎024-5331-0064  
※原則予約制です。

社員間の不合理な待遇差が禁  
止されます。

福島労働局では、来年4月  
1日に同法が施行されること  
を受け、特別相談窓口を開設  
しています。働く方も、企業  
等のご担当者様もぜひご相談  
ください。

### ●受付時間

8時30分～17時15分  
(土日祝を除く)  
※令和2年3月31日まで

### ●問合せ先

福島労働局雇用環境・均等室  
福島市霞町1-46  
福島合同庁舎5階  
☎024-5336-4609

## 林業退職金共済制度(林退 共)の退職金請求について

林退共は、昭和57年に発足  
した林業界で働く方のための  
退職金制度です。

以前、林業の仕事に従事さ  
れたことがあり、その当時、  
林退共制度に加入した方で、  
退職金請求手続きをしたお心  
当たりのない方は、退職金を  
まだ受け取っていない可能性  
があります。詳しくは左記ま  
でお問い合わせください。

### ●問合せ先

独立行政法人  
勤労者退職金共済機構  
林業退職金共済事業本部  
〒170-18055 東京  
都豊島区東池袋1-24-1  
ニッセイ池袋ビル

## 税 今月の納期

12月25日までに  
納めましょう

- 国民健康保険税(6期)
- 水道使用料(3期)
- 農集排使用料(12月分)
- 介護保険料(6期)
- 後期高齢者保険料(5期)

☎03-6731-2889  
FAX 03-6731-2890  
※詳しくは、ホームページで  
もご案内しています。  
・「林退共」で検索

都内に設置している福島県の移住・就職相談窓口です。



福が満開、  
福しま暮らし  
情報センター



●住所：東京都千代田区有楽町 2-10-1 東京交通会館 8F  
●電話番号：03-6551-2989  
●メール：fukushima@furusatokaiki.net  
●開館時間：10時～18時  
●休館日：月曜日、祝日及び夏季・冬季休業



# 虫歯のない子

10月29日  
3歳児検診



若山<sup>じん</sup> 仁くん  
(黒谷)



河原田<sup>りお</sup> 莉緒さん  
(梁取)



大竹<sup>いちのしん</sup> 一之進くん  
(熊倉)



鈴木<sup>はやて</sup> 颯天くん  
(只見)



角田<sup>きょうこ</sup> 杏子さん  
(小林)

## 町長スケジュール (11月分)

- 2日 只見中学校紅葉祭
- 3日 只見町文化祭、町制施行60周年記念事業「文化講演会」
- 5日 福島県知事台風19号被災地視察
- 6日 東京福島県人会(湯ら里)
- 7日 南会津地方環境衛生組合議会行政視察研修(～8日 埼玉県、群馬県)
- 9日 只見新そばまつり
- 10日 只見町文化協会芸能発表会
- 11日 JA会津よつば・17市町村合同トップセールス事業報告会(会津若松市)
- 12日 定例庁議、ふくしま駅伝只見町選手結団式及び壮行会
- 13日 日本ESD学会会員只見町訪問研修、政策調整会議、診療所医師との懇談会
- 14日 ユネスコエコパーク連絡調整会議
- 15日 新潟疎水制定実現総決起大会(東京都)
- 16日 まるごと南会津観光PRフェアオープニングセレモニー(東京都)

- 17日 福島駅伝只見町選手解散式
- 18日 会津地区国有林野等所在地元市町村長有志協議会(会津若松市)
- 19日 全国治水砂防促進大会及び要望活動(東京都)
- 20日 新潟大学学長表敬訪問(新潟市)
- 21日 只見町総合教育会議、区長連絡協議会町内研修会
- 23日 町制施行60周年記念事業「自然首都・只見」及び「ユネスコエコパーク」情報発信講演会
- 24日 只見町社会福祉の集い
- 25日 ダム・発電関係市町村全国協議会・合同勉強会(東京都)
- 26日 只見町議会11月会議、只見町・金山町・昭和村消防相互応援協定に係る打合せ会議
- 27日 全国町村長大会(東京都)
- 28日 全国山村振興連盟通常総会、全国観光地所在町村協議会総会(東京都)
- 29日 政策調整会議、只見川電源流域振興計画調査・策定委員会、森林管理署南会津支署長来庁

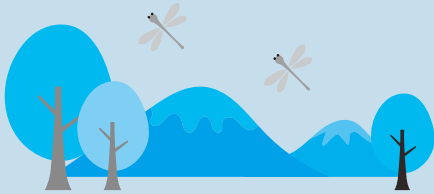


# 町民の消息

(10月26日～11月25日届出分)敬称略

## ■おくやみ申し上げます

五十嵐	ハギヨ	92	蒲	生
酒井	トミヨ	95	長	浜
星	冴子	83	只	見
新國	展	80	只	見
角田	新一	90	長	浜
鈴木	厚	76	黒	谷
星	ナミ子	90	長	浜



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

令和元年11月1日現在

人	口	4,175 (-3)
男		2,045 (-3)
女		2,130 (±0)
世帯数		1,778 (-4)
高齢化率		46.5%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 7 転出 3 出生 1 死亡 8

▽早いもので2019年も最終月です。ついこの間、広報担当になって最初のあとがき(今年の5月号)を書いた気がしますが、気づけばもう12月となってしまいました。▽今年、改元により日本全体が、また、町としても町制施行60周年を迎えた大きな節目の年となりました。来年も様々な場所に顔を出し、たくさんの方の情報を届けられるよう頑張りたいと思います。▽皆さん、どうぞ良いお年をお迎えください。

(橋本)

## あとがき

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

## 町民憲章

生涯学習サポーター  
目黒美沙希

只見振興センター  
図書室 ☎82-2141

# おすすめ新着図書

## ★岩田さん 岩田聡はこんなことを話していた。

ほぼ日刊イトイ新聞 / 糸井重里



「人にハッピーであってほしい」と誠実に仕事に励んだ、任天堂元社長の岩田聡さんのクリエイティブに対する思いや経営理念、価値観、ポリシー、哲学などのことばが詰まった一冊。難しいビジネス書のような感じは無く、たくさんの人に思いが伝わるようなやさしい文章になっています。

早いもので、岩田聡さんが2015年7月に亡くなられてから4年がたちます。ですがこの本を読んでいると、私たちに直接やさしい口調で語りかけてくれているような、そんな感覚になる。奇妙で、おもしろい。そして、せつない本です。

## ★はりねずみのルーチカ

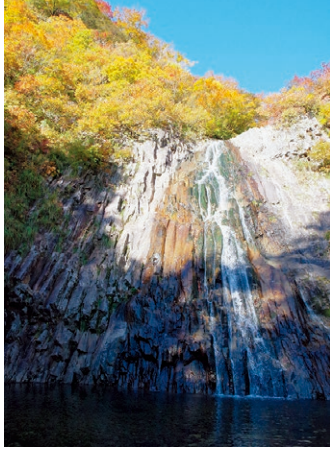
作者：かんのゆうこ / 絵：北見葉胡



ふしぎなきものたちが暮らすフェリエの国。はりねずみのルーチカはともだちのもぐらのソルと一緒に、ルビーのようなあかすぐりの実をあつめて、おいしいジャムをつくるために森へと出かけますが…。いつも見守ってくれている、存在をみとめてくれる人たちが誰にも必ずいるよ、という温かいメッセージが楽しいお話の中から伝わってきます。イラストもかわいいので、こどもだけではなくおとなも癒やされる人気シリーズです。

☆その他にも図書コーナーにはたくさんのお本が置いてあります。リクエストも随時受け付けていますので、ぜひご利用ください。

## ちゅうじょうせつり 柱状節理



▲ 笠倉山の立安沢で見られる流紋岩の柱状節理(塩沢)



▲ 伊南川発電所の取水ダム近くの中島に玄武岩の柱状節理が見られる(大倉)

節理とは、岩体に見られる規則正しく入った割れ目の中で両側にズレの見られないものをいいます(ズレを伴うものは断層に区別されます)。こうした節理は、主に火成岩に見られ、高温のマグマが冷却され、収縮することで形成されます。節理は、マグマよりも温度の低い空気や地面などとの界面(冷却面)に対して垂直にでき、その後、岩体内部に節理に沿って空気が入り込み水平方向に二次的な節理が生じるため、このような形状になります。節理はその形状によりさらに区分されており、柱状に割れ目が入るものを柱状節理と呼びます。その他にも板状節理や放射状節理など色々な節理があります。節理は、かつての大地の動きを知る一つの手掛かりであり、その見た目の美しさから各地の天然記念物や景勝地であることが多いです。

只見町では、流紋岩や玄武岩などの火山岩の柱状節理があります。塩沢川流域の笠倉山の立安沢には垂直方向に伸びる流紋岩の柱状節理を見ることができます。これは、新第三紀中新世中期の海底火山活動により流れ出した溶岩が冷却、形成されたものです。また、布沢川が伊南川に合流する地点にある中島、塩沢の只子沢橋付近の只見川左岸部には岩盤に貫入(マグマが地層や岩石内に入り込むこと)した玄武岩や流紋岩の岩体に柱状節理が見られます。こちらは水平方向に節理が形成されており、これは貫入した岩体が両側の岩盤に冷却されるためと考えられます。

### 身近な自然を学ぶ『ただみ観察の森』観察会 「杉沢のユビソヤナギ林 — 保全の必要性について考える —」

10月5日、国内に限られた河川にしか分布しない希少なユビソヤナギ(絶滅危惧種)が生育する杉沢の『ただみ観察の森』で自然観察会が開催され、10人が参加しました。只見町の伊南川沿いには、ユビソヤナギが広く生育し、国内最大級の自生地となっています。

参加者は、砂や礫に覆われた広い河原が生育に必要であることを学ぶとともに、洪水被害を防ぐための河川管理と保全を両立させるための課題などについて話し合いました。



▲ ユビソヤナギを観察し、保全の必要性などを話し合う参加者

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています